

新しい歌を賛美しながら 詩篇 150:1-62024.1.7 丘の上 NO.717
春日部福音自由教会 山田豊

主イエスキリストの2024年、あけましておめでとうございます。

今年の箱根駅伝は、100回目の記念大会ということなので、初めて街頭応援に出かけてきました。大勢の人が浴道に集まり、白バイやパトカーが走り、いよいよ選手たちが近づいてくると応援の聲が高くなります。さすがにランナーの走りは早く、あっという間に目の前を走り去っていきました。いろんな思いを抱えながら前に向かって進み、タスキをつないでいく姿に感動する、これが駅伝の面白さかもしれません。

人生はいろいろなものにたとえられ、走るのもいいのですが、歩くことが基本のように思います。たとえ身体的に歩くことができなくなっても、心の巡礼としてイエスキリストを目当てとして、今年も歩いていきたいと願います。どうせ歩くならば、神様を賛美しながら歩こうではないか、というのが本日の説教の主題です。上を向いて歩こうの、讚美歌バージョンといったところでしょうか。

本詩篇は、150ある詩篇の最後を飾るにふさわしく、いろいろな楽器で神を賛美することが勧められています。その賛美は、「新しい歌」という言葉が詩篇にあるように、賛美する人自身が神によって新しくされている、ここがポイントです。新しい年になるのは、時間的なことです。私などは新しくなるのではなく、古くなっていくのだと思います。肉体や精神の衰えを感じるわけです。ある方が、子供時代に野外活動で使っていた歌集を見せてくれました。50年以上も前のものですが、讚美歌も数曲入っているのです。今までとは違う思いで歌うことができるでしょう。その方は、神様によって新しくされたからです。

未だ世界の中には戦争が続いている国があり、年明け早々に大きな地震と痛ましい飛行機事故がありました。自ら命を絶ってしまう方もありました。神を賛美することなど、できるのでしょうか？しかしこのような中であるからこそ、神のあわれみがあることを感じます。私たちがへりくだらなくてはならないことも、教えられます。

人として生まれてくださった神であるイエスキリストに目を向けて、まず一步を踏み出してみたいのです。「歌いつつ歩まんハレルヤ」(新聖歌325)とあるように。

引用聖句

ヨハネ 4:23-24　しかし、まことの礼拝者たちが、御霊と真理によって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。24 神は霊ですから、神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。」

1 コリント 6:19　あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。

1 コリント 13:1　たとえ私が人の異言や御使いの異言で話しても、愛がなければ、騒がしいどらや、うるさいシンバルと同じです。

詩篇 33:3　新しい歌を主に歌え。喜びの叫びとともに巧みに弦をかき鳴らせ。

イザヤ 42:10　新しい歌を【主】に歌え。その栄誉を、地の果てから。海に下る者、そこを渡るすべての者、島々とそこに住む者よ。

黙示録 5:9　彼らは新しい歌を歌った。「あなたは、巻物を受け取り、封印を解くのにふさわしい方です。あなたは屠られて、すべての部族、言語、民族、国民の中から、あなたの血によって人々を神のために贖い、

ローマ 12:2　この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。

コロサイ 3:16　キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かって歌いなさい。

2 コリント 4:16　ですから、私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。

聖書の楽器

(1) 弦楽器. リラ属の楽器として登場し、世襲音楽家一族レビ人により合奏された。大きさの違いや奏法などで説は一定ではない。

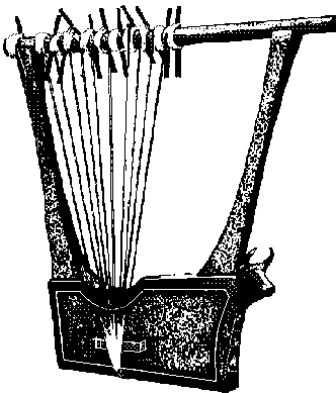
a. 立琴. 〈へ〉キンノール (創 31 : 27, Iサム 16 : 23, イザ 5 : 12 等).

b. 十弦の琴, 六弦の琴. 〈へ〉ネーベル (詩 92 : 3, 150 : 3 等).

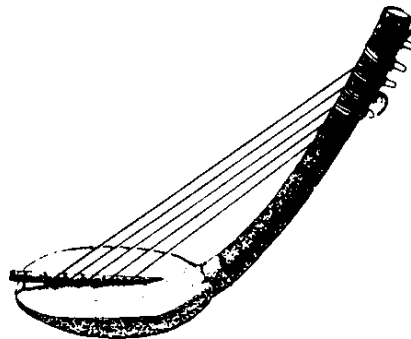
c. 十弦の琴. 〈へ〉ネーベル・アーソール (詩 33 : 2, 144 : 9 等).

- d. 三弦の琴. 〈へ〉 シャーリーシュ (Iサム 18 : 6 等).
- (2) 管楽器. a. 角笛. 〈へ〉 ショーフアール (Iサム 13 : 3, IIサム 2 : 28 等). 〈へ〉 ケレン (ヨシ 6 : 5, I歴 25 : 5 等).
- b. ラッパ. 〈へ〉 ハツオツエラー (民 10 : 2, 8, 9, 10, 31 : 6, II歴 5 : 12 等).
- c. 鈴. 〈へ〉 パアモン (出 28 : 33 - 34, 39 : 25, 26 等).
- d. 笛. 〈へ〉 ハーリール (Iサム 10 : 5, I列 1 : 40, イザ 5 : 12 等).
〈へ〉 ウッガーブ, ウーガーブ (ヨブ 21 : 12, 30 : 31, 詩 150 : 4 等).
- (3) 打楽器.
- a. タンバリン. 〈へ〉 トーフ (出 15 : 20, 士 11 : 34, Iサム 18 : 6 等).
- b. シンバル. 〈へ〉 メツィルタイム (I歴 13 : 8, 15 : 19, 16 : 5 等).
- c. カスタネット. 〈へ〉 メナアンイーム (IIサム 6 : 5).

(聖書辞典 いのちのことば社)



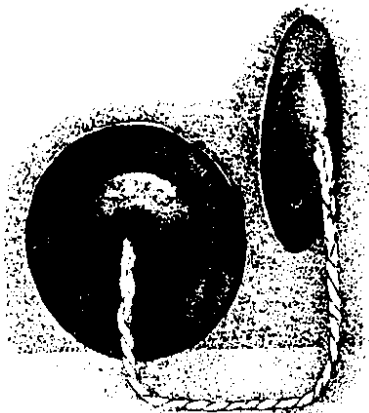
たて琴



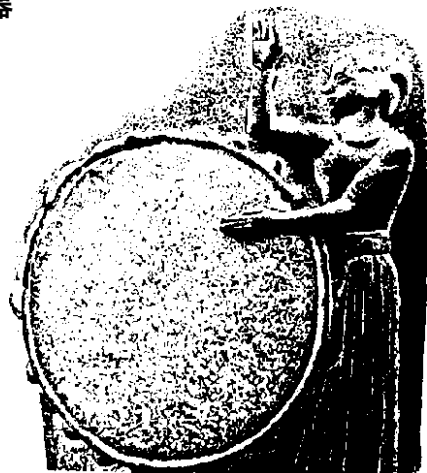
古代エジプトの楽器



角笛



シンバル、青銅製. 亜麻布のひもで結ばれている



太鼓をたたく人